

キャラクター名
翠簾野 夕南

プレイヤー名

シンドローム	ノイマン オルクス		ワークス	UGN支部長A	カヴァー	神主見習い
オプション			年齢	25	性別	男性
覚醒	渴望	衝動	闘争		初期侵食率	33 %
出自	待ち望まれた子	経験	汚れ仕事	邂逅	自身(敷島あやめ)	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	27
肉体	0	1	0			1	行動値	7
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	7
精神	4	0	1			5	戦闘移動	12
社会	3	0	0			3	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	4		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚			意志	2		調達	1	
運転:	2		芸術:			知識:			情報:UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:裏社会	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
伝家の宝刀	白兵	5r+4	3	9		秘密兵器:フォールンブレイド 白兵攻撃の命中判定直前に宣言するとC値-1。効果使用時武器破壊
《我流・稲光》	白兵	9r+4		9		《コンセントレイト:ノイマン》《コンバットシステム》。

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
携帯電話	
ウェポンケース	
思い出の一品	
要人への貸し	
情報収集チーム	
コネ:UGN幹部	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
秘密兵器	P	N		
翠簾野叶耶	P 尊敬	N 不安		
ト部影路	P 誠意	N 脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ノイマン	2	2	Xジャー	-	-	自動		
効果: 組み合わせた判定のC値[-LV]								
コントロールソート:白兵	★	2	Xジャー	-	自身	対決	-	
効果: 選択した技能のダイス基礎を【精神】で置換し判定する。								
コンバットシステム:白兵	3	3	Xジャー/リアクション	-	-	対決		
効果: 組み合わせた判定のダイスを+ [Lv+1]								
妖精の手	3	4	オート	視界	単体	自動	Lv回	
効果:対象が判定のダイスを振った直後に使用する。対象のダイスの判定目をひとつを10に変更する。このエフェクトは対象が判定を行なっている最中にも使用できる。このエフェクトは1回の判定につき1回まで使用でき、1シナリオにLv回使用できる。								
勝利の女神	2	4	オート	視界	シーン(選択)	自動	100%	
効果: 対象が判定を行った直後に使用。達成値に[+LV*3]								
生き字引	1	2	Xジャー	至近	自身	自動		
効果: すべての〈情報:〇〇〉判定に使用して情報収集判定を行う。この時ダイスを+Lv個。								
写真記憶	1							
効果: 見たものを忘れない目。								
地獄耳	1							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

「ゆーなって呼んで! お兄様! でもいいけどな!」

みすの・ゆうな。
一人称「おれ」二人称「あんた、君」
伸ばし棒が多く、跳ねるような声で話す。

リアクションが大きく、口うるさく、お調子者。間違いなく善人だが、おだてるとけっこう木に登る。
必要だと感じればずかずかと他人の領分が上がらぬが、案外無神経ではない。人の心をわかっているからこそ、あえて空気を読まなくなるタイプ。
もとは最前線で戦っていただけあって、状況判断能力といざという時の思い切りに秀でる。

そこそこ大きな神社の跡取り。母は神主兼UGNイリーガルで、父は本部エージェント。
その実態は、古くからこの辺りを勝手に守り続けてきたオーヴァードの家系。
一度見たものをかけて忘れない頭脳と、剣を握り始めてから発現した領域操作によってオーヴァードであることが知れてからすぐ、家族を守ろうと決意しエージェントになる道を選ぶ。
ふつうではない自分がふつうに育てられてきたように、誰かへの幸せを上げるために。世界の守護者としての任務を着実にこなす。
故郷から遠く離れた場所まで遠征し任務に出ることままあった夕南に舞い込んだ、ひとつの参戦依頼。
ある地区で勃発した戦いを生き延びてのち、疲れた体を引きずって、彼は故郷の支部に戻るようになった。
彼の人生を変えることになってしまったその戦いについて、本人は固く口を閉ざし語ろうとしない。

現在は最前線の任務から退き、後進育成のために支部のチルドレン育成やイリーガルの発掘に励んでいるが、支部長である夜辺基五郎の死によって支部長に任命され、夕南は表舞台に戻されることになる。